

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

（地域の現状）常盤台地域ケアプラザの各地区における共通の課題は、①地域ネットワークづくり「地域のつながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「見守り・支え合い」の推進③高齢者の健康寿命を延ばすとともに介護予防を推進する心と体の健康づくり④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」⑤身近な地域で安心して過ごせる居場所づくり⑥認知症及び在宅で介護の必要な方や家族を支える取組み⑦医療・介護関係者の連携強化と相談対応の体制づくりなどがあげられる。（今後の方向性）今年度も羽沢横浜国大駅の周辺地区におけるまちづくりを支援します。具体的には、①『羽沢横浜国大まちづくり協議会』によるまちづくりプランの策定。②横浜国立大学ワークショップを基軸にした取組み。以上2つの取組みについて、駅周辺エリアの自治会町内会・横浜国立大学・行政・常盤台地域ケアプラザに加えて鉄道会社や地権者、地域の学校、子育て支援関係者とも相談しながら同時並行的にすすめていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○「羽沢横浜国大まちづくり協議会」の事務局として、引き続き協議会の運営や調整等の支援を行なっていく ○活動状況の聞き取りを行う中で、代表や参加者の方が活動に対してどのように思っているかを確認し、必要に応じて情報提供や提案を行う。 ○今年度ワークショップのテーマ「遊べる椅子づくり」を通じて、特に子育て関係者との連携強化に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○昨年度から継続でチームオレンジ事業に取り組む。地域住民と一緒に考える機会を作り「高齢になっても受け入れられるあったかい地域作り」を構築していく。 ○チームオレンジの広報活動を強化していく。 ○認知症カフェの実施に加えて、認知症サポーター養成講座やステップアップ講座を企画する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○昨年度までケアプラザでケアマネジャー向けに開催していた事例検討会を、さらに他職種を交えたグループワークや情報交換の要素を取り入れた形に発展させ「ときわの輪」の名称でリニューアルする。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○パン＆和菓子教室を自主事業から自主グループへ立ち上げを行い、イベント時のボランティア活動につなげていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○団体との関わりを継続し、情報を把握し、「きらりシニアマップ」「地域活動サービス検索ナビ(Ayamu)」に反映する。 ○考えられる課題とその根拠となるデータの整理を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍明けにより、地域活動が徐々に以前のように戻って来たことに伴い、エリア内4連合地区の個別事情に寄り添った支援を行った。常盤台地区の「羽沢横浜国大まちづくり協議会」による「まちづくりプラン」のとりまとめが佳境に入っており、他3地区においても地域づくりの取組みが進んでおり、ケアプラザとしての支援に努めた。チームオレンジ事業については、天王町イオンにおける認知症カフェを通じて若年性認知症の方々との交流が生まれたことが今年度の成果と言える。ケアプラザ圏域地域ケア会議では、共通課題として多世代交流への取組みが挙げられており、今後の地域づくりのテーマとして検討していきたい。地域の小中学校や幼稚園との交流も再開してきており、多世代交流の一環として地域全体の活性化につながった。また、今年度はコンプライアンス事故として介護支援専門員資格証の更新漏れ事案が発生した。今後は管理者を含めた資格証の有効期限を確認すると共に、チェック表を作成して再発防止に努める。

区からのコメント

地域ケア会議を通して見えてきた共通課題として、多世代交流をテーマに様々な取組が行われました。子育て世代に向けた認知症講座や、ケアプラザの隣に位置する横浜国大・近隣の小学校との連携も進めることができおり、取組を通じて形成されたネットワークが今後の多世代交流の取組にも活かされてくることを期待しています。また、自主事業の参加者として男性を積極的に取り込まれていたり、今後も年齢・性別問わず誰もが利用できる施設の運営となるように継続をお願いします。

常盤台エリアには大学や企業など様々な資源がありますが、チームオレンジをきっかけに企業とのつながりが生まれています。また、このような取組に賛同し協力する区内の地域ケアプラザも出てきています。チームオレンジ事業がもたらす付加価値にも着目し今後の展開にも期待しています。引き続きよろしくお願いたします。

コンプライアンスに関しては、再発防止策の徹底に止まらず、所属内でのルールやマニュアル、ダブルチェックの徹底、他の事故事例等を共有するなど所属内でも様々な機会を通じて職員一人ひとりが意識できるような環境づくりをお願いします。

# 令和5年度横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	事業者選定にあたっては、ホームページなどを活用して複数事業者を提示したうえでご利用者様・ご家族様に事業者を選択していただくプロセスを徹底していきます。また、支援に際して毎月のカンファレンスや日常業務での区役所とのやり取りを通じてきめ細かく情報共有を行い、支援方針についても緊密に連携しながら実務にあたります。利用者アンケートを通じて意見聴取し、業務改善につなげます。	前年度はコンプライアンス関連で事故は発生していませんが、引き続きコンプライアンス関連を含めた事故・苦情案件を起こさないように対応していきます。過去数年間に起きた事例の教訓を生かして、広報誌のイラスト及び記事内容チェック、PCセキュリティのウイルス対策強化、研修等による苦情対応の強化等について引き続き具体的に取り組んでまいります。
実績	事業者選定にあたっては、複数事業者を提示したうえでご利用者様・ご家族様が選定されたことを記録に残すように努めました。一方で居宅介護支援事業者の委託可能な引き受けケースの数が年々減少しており、委託可能な事業所を探すのに数日を要する深刻な事態になってきている現状があります。	今年度は居宅介護支援事業において、介護支援専門員証の有効期限切れという重大事案が発生いたしました。今後は、チェックシートを活用して、管理者を含めた資格証の確認をしっかりと行ってまいります。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。	居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】なし	【その他料金】なし
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 保健師等 2名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤専従)
契約者数	243	92

令和5年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」  
収支報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

（単位：円）

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,638,979	0	17,638,979	17,286,502	352,477	横浜市より 差引額は横浜市へ戻入
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	301,649	△ 301,649	保険料や材料費等の利用実費負担
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	17,638,979	0	17,638,979	17,588,151	50,828	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,366,512	0	11,366,512	9,901,471	1,465,041	
本俸	7,347,512	0	7,347,512	7,525,455	△ 177,943	施設職員基本給・契約職員賃金
社会保険料	2,921,000	0	2,921,000	811,140	2,109,860	
手当計	943,000	0	943,000	1,431,260	△ 488,260	施設職員・契約職員各諸手当、賞与
健康診断費	50,000	0	50,000	48,950	1,050	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	99,000	0	99,000	79,103	19,897	
その他	6,000	0	6,000	5,563	437	
事務費	1,347,000	0	1,347,000	1,799,768	△ 452,768	
旅費	10,000	0	10,000	13,355	△ 3,355	外出時駐車場代・公共交通機関運賃
消耗品費	340,000	0	340,000	409,958	△ 69,958	感染症予防物品・事務用品・衛生用品
会議購入費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	60,000	0	60,000	57,465	2,535	コピー・カント料・封筒・名刺印刷代
通信費	250,000	0	250,000	249,054	946	固定・携帯電話・FAX、切手、郵送宅急便、インターネット接続
使用料及び賃借料	5,280	0	5,280	5,280	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,280	0	5,280	5,280	0	自動販売機（介護保険事業と折半）
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	15,000	0	15,000	3,606	11,394	研修参加費・参加時旅費
振込手数料	70,000	0	70,000	50,164	19,836	給与・業者等振込手数料
リース料	10,000	0	10,000	91,482	△ 81,482	清掃用品、AEDレンタル
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	586,720	0	586,720	919,404	△ 332,684	求人広告費・施設案内看板設置・各団体諸会費・カンソウ代・車両点検費 コピー・FAX複合機等レンタ
事業費	442,000	0	442,000	623,357	△ 181,357	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	21,674	20,326	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000	0	400,000	601,683	△ 201,683	
その他	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
管理費	2,801,000	0	2,801,000	1,997,393	803,607	
光熱水費	1,520,000	0	1,520,000	778,904	741,096	電気・都市ガス・上下水道代
清掃費	360,000	0	360,000	385,873	△ 25,873	館内清掃業務委託・建物高圧洗浄・グリスラップ清掃
機械整備費	84,000	0	84,000	83,762	238	
設備保全費	406,000	0	406,000	404,568	1,432	
空調衛生設備保守	147,000	0	147,000	146,433	567	空調関係保守
消防設備保守	28,000	0	28,000	27,920	80	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	18,000	0	18,000	17,373	627	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	213,000	0	213,000	212,842	158	昇降機・自動ドア保守
共益費	0	0	0	0	0	
その他	431,000	0	431,000	344,286	86,714	Wi-Fi設備保守、パソコン保守・建築設備点検
修繕費	474,000	0	474,000	121,523	352,477	
公租公課	1,208,467	0	1,208,467	895,671	312,796	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	1,208,467	0	1,208,467	895,671	312,796	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	17,638,979	0	17,638,979	15,339,183	2,299,796	
差引	0	0	0	2,248,968	△ 2,248,968	

自主事業費 収入	0	0	0	301,649	△ 301,649	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	601,683	△ 201,683	
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	△ 300,034	△ 99,966	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,280	0	5,280	5,280	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,280	0	△ 5,280	△ 5,280	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」  
収支報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>収入の部</b>						
指定管理料【包括】	28,433,290	0	28,433,290	24,430,563	4,002,727	横浜市より 差引額は横浜市へ戻入
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,858,377	0	5,858,377	5,858,377	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	1,800	△ 1,800	保険料や材料費等の利用者実費負担
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	39,400	△ 39,400	説明欄は、主な用途などを必要に応じて記入してください。(現在入力してある文字等の削除も可)
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	45,400	△ 45,400	保険料
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000	0	300,000	3,050	296,950	保険料
雑入	0	0	0	300	△ 300	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	300	△ 300	
その他	0	0	0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>34,745,667</b>	<b>0</b>	<b>34,745,667</b>	<b>30,532,890</b>	<b>4,212,777</b>	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>支出の部</b>						
<b>人件費</b>	<b>30,448,704</b>	<b>0</b>	<b>30,448,704</b>	<b>21,678,463</b>	<b>8,770,241</b>	
本俸	16,997,704	0	16,997,704	12,213,118	4,784,586	施設職員基本給・契約職員賃金
社会保険料	3,900,000	0	3,900,000	2,757,234	1,142,766	
手当計	9,000,000	0	9,000,000	6,300,581	2,699,419	施設職員・契約職員各諸手当、賞与
健康診断費	21,000	0	21,000	17,325	3,675	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	510,000	0	510,000	373,517	136,483	
その他	20,000	0	20,000	16,688	3,312	
<b>事務費</b>	<b>1,900,000</b>	<b>0</b>	<b>1,900,000</b>	<b>3,574,746</b>	<b>△ 1,674,746</b>	
旅費	40,000	0	40,000	44,615	△ 4,615	外出時駐車場代・公共交通機関運賃
消耗品費	160,000	0	160,000	72,127	87,873	感染症予防物品・事務用品・衛生用品
会議随費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	100,000	0	100,000	80,020	19,980	コピーカウント料・封筒・名刺印刷代
通信費	400,000	0	400,000	369,147	30,853	固定・携帯電話・FAX、切手、郵送宅急便、イ
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	100,000	0	100,000	7,668	92,332	研修参加費・参加時旅費
振込手数料	60,000	0	60,000	33,160	26,840	給与・業者等振込手数料
リース料	10,000	0	10,000	87,125	△ 77,125	清掃用品、AEDレンタル
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	1,030,000	0	1,030,000	2,880,884	△ 1,850,884	求人広告費・施設案内看板設置・各団体諸会費・ガソリン代・車両点検費 コピーFAX複合機等レンタル
<b>事業費</b>	<b>1,499,000</b>	<b>0</b>	<b>1,499,000</b>	<b>1,007,580</b>	<b>491,420</b>	
協力医	630,000	0	630,000	84,000	546,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000	0	100,000	31,968	68,032	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000	0	154,000	193,400	△ 39,400	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000	0	315,000	455,543	△ 140,543	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000	0	300,000	242,669	57,331	
その他	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>725,000</b>	<b>0</b>	<b>725,000</b>	<b>907,270</b>	<b>△ 182,270</b>	
光熱水費	245,000	0	245,000	207,050	37,950	電気・都市ガス・上下水道代
清掃費	90,000	0	90,000	102,573	△ 12,573	館内清掃業務委託・建物高圧洗浄・グリスラップ清掃
機械警備費	23,000	0	23,000	22,265	735	
設備保全費	109,000	0	109,000	107,540	1,460	
空調衛生設備保守	39,000	0	39,000	38,925	75	空調関係保守
消防設備保守	8,000	0	8,000	7,421	579	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	5,000	0	5,000	4,617	383	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	57,000	0	57,000	56,577	423	昇降機・自動ドア保守
共益費	0	0	0	0	0	
その他	258,000	0	258,000	467,842	△ 209,842	Wi-Fi設備保守、パソコン保守・建築設備点検
<b>修繕費</b>	<b>126,000</b>	<b>0</b>	<b>126,000</b>	<b>32,303</b>	<b>93,697</b>	
<b>公租公課</b>	<b>46,963</b>	<b>0</b>	<b>46,963</b>	<b>0</b>	<b>46,963</b>	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	46,963	0	46,963	0	46,963	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>34,745,667</b>	<b>0</b>	<b>34,745,667</b>	<b>27,200,362</b>	<b>7,545,305</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,332,528</b>	<b>△ 3,332,528</b>	

自主事業費 収入	300,000	0	300,000	89,650	210,350	
自主事業費 支出	869,000	0	869,000	923,580	△ 54,580	
自主事業 収支	△ 569,000	0	△ 569,000	△ 833,930	264,930	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護						
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	2,409	2,173	236	20,820	18,417	2,403	70,972	56,340	14,632	13,599	4,368	9,231				0
	その他	0	42	-42	0	435	-435	8,186	7,886	300	720	459	261	0	0		0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	5,824	4,960	864	720	231	489				0
	物価高騰対策補助金	0	42	-42	0	42	-42	0	462	-462	0	228	-228				0
	借入金利息補助	0	0	0	0	0	0	112	112	0	0	0	0				0
	認定調査委託料	0	0	0	0	366	-366	0	0	0	0	0	0				0
	借入金元金償還補助	0	0	0	0	0	0	2,250	2,250	0	0	0	0				0
	その他	0	0	0	0	27	-27	0	102	-102	0	0	0				0
	<b>収入合計(A)</b>	2,409	2,215	194	20,820	18,852	1,968	79,158	64,226	14,932	14,319	4,827	9,492	0	0		0
支出	人件費	1,200	1,318	-118	18,364	16,888	1,476	55,565	56,595	-1,030	9,128	6,328	2,800				0
	事務費	150	551	-401	1,289	655	634	2,478	1,379	1,099	626	288	338				0
	事業費	0	0	0	0	0	0	5,906	6,656	-750	1,470	1,202	268				0
	管理費	192	192	0	1,138	1,395	-257	7,994	7,813	181	3,083	2,723	360				0
	その他	0	0	0	0	51	-51	7,140	8,296	-1,156	12	6	6	0	0		0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	20	0	20	10	0	10				0
	消費税	0	0	0	0	33	-33	0	0	0	0	0	0				0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	支払利息	0	0	0	0	18	-18	120	123	-3	2	6	-4				0
	拠点区分間繰入金	0	0	0	0	0	0	4,000	4,992	-992	0	0	0				0
	借入金元金償還金	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000	0	0	0	0				0
その他	0	0	0	0	0	0	0	181	-181	0	0	0				0	
<b>支出合計(B)</b>	1,542	2,061	-519	20,791	18,989	1,802	79,083	80,739	-1,656	14,319	10,547	3,772	0	0		0	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>867</b>	<b>154</b>	<b>713</b>	<b>29</b>	<b>-137</b>	<b>166</b>	<b>75</b>	<b>-16,513</b>	<b>16,588</b>	<b>0</b>	<b>-5,720</b>	<b>5,720</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ときわの森子育て広場	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場、親子同士の交流の場。ケアプラザに来てもらう事で子育てに関しての情報交換ができる事や相談の場である事などを知ってもらった。	3:養育者及び乳幼児		4月絵具でらくがきしてあそぼう(手形アート作り)・5月佐藤亜紀先生の「音とリズム遊び」&小物づくり6月緑川先生と親子で遊ぼう(音楽に合わせて親子で楽しくおどろろ)・9月のミニ運動会&乳児期の歯磨きについて・10月佐藤亜紀先生の「音とリズム遊び」~ハロウィンパーティーだよ!・11月緑川先生と親子で遊ぼう(音楽に合わせて親子で楽しくおどろろ)・R6年1月茶々さんのわくわくお話し会&おやつ試食会(ヘルスメイトさんによる)・2月山本圭子先生のミニコンサート(手遊び歌など)作り楽器でみんなで歌おうと地域見守る認知症についての紙芝居を行った。	15	138
2	ときわの森らくらくストレッチ体操教室	平成22年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に高齢者を中心とした体操教室。健康維持、転倒予防を目的とする。	5:地域		無理なく安全に椅子に座って行うストレッチ体操。講師の楽しい会話を交えながら分かりやすい動きで進める。令和5年4/22.5/23.6/29.7/31.9/29.10/31.11/30.令和6年1/23.2/29.3/23全10回を開催した。	10	100
3	ときわの森美と健康体操	平成31年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しい姿勢を保つためのストレッチや心身ともに健康になるための体操を行う。健康な日常生活を送れることを目的とする。	5:地域		ストレッチ・体幹トレーニング・筋力アップ・骨盤調整など少しずつ取り入れて、身体状況を見ながら上記の内容の運動プログラムを組み合わせて開催していく。毎月第1、3水曜日祝日を含み全23回を開催した。	23	289
4	ときわの森音と音楽で遊ぼう	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持っているお子さんと親子の放課後支援。音楽を通じて交流を図る。	2:障害児・者		音楽療法の講師を招いて、発達統合調整を行う。ピアノに合わせて他に楽器演奏などとして利用者発表会へ参加した。毎月第1水曜日に10回開催した。	11	37
5	園芸ボランティア活動	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスの共通部分である施設内及び周辺の整備をしていく事で、きれいな環境維持とボランティアの活動の場、発掘の場につながっていく。	5:地域		2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となって行う。季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植えていく。イベントで花の販売も行った。原則第2月曜日に開催した。	11	58
6	ときわの森おもちゃ病院	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティアのおもちゃドクターの協力により壊れたおもちゃを修理して、再び使えるようになることで「物を大切にしたい心」を伝えていく。	5:地域		こわれたおもちゃをボランティアのおもちゃドクターが診断修理する。修理代は無料(部品代がかかる場合は自己負担)。原則第2土曜日に全11回開催した。	11	79
7	保育園パパ・ママに保育園のこと聞いちゃおう!	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	入園前の子どもの保護者対象に保育園に関する情報を現在通わせている母親から情報をもらい、入園の目安にしてみよう。	3:養育者及び乳幼児		子育て支援拠点こっころの協力を得て、幼稚園のホームページや説明会ではわからない事を経験者の生の声を直接聞いて入園時の参考にしていく。6月開催する。	1	8
8	ときわの森子育て広場水遊び親子でサマーパーティー	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士の交流の場。遊びながら情報交換などが楽しくできる場の提供を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころが近隣の保育園に通わせている母親や父親に声をかけて協力してもらい、これから保育園へ入園するための準備としての情報交換会を行う。令和6年2月3日に開催した。	2	36
9	秋の利用者発表会&作品展	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスとの共催でイベントを開催することで、地域住民とのつながりを深める。	5:地域		・利用者発表会 ケアプラザを利用している登録団体が日頃の活動の成果を順番に披露していただく。・作品展 ケアプラザを利用している登録団体の4団体が作品を一週間、情報ラウンジと2階ロビーに手芸・編み物・習字などの作品を展示し、来館者に観ていただく。・おもちゃ病院を開催し、来ていただいた若い世代の方々に発表会を観てもらった。	1	180
10	ときわの森親子で楽しむクリスマス会	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士で音楽を通じたクリスマス会を開催し交流を図る。	3:養育者及び乳幼児		佐藤亜紀先生の「音とリズム遊び クリスマスパーティー」として親子で楽しむクリスマス会。サンタより参加者へ手作りのプレゼントを渡す。ボランティアと一緒に会場の設営を行う。12月開催した。	1	28
11	第12回桜バザー	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスの共同開催。地域住民との交流を目的としたイベントの開催。	5:地域		令和6年3月10日に地域住民より不要になった品物を集めて多目的ホールと集客室でバザーを開催した。 ・園芸ボランティアによる花の販売・コーヒー隊のコーヒー販売・パン販売(白根学園麦の丘)・チームオレンジの啓発・手作りクッキー販売・外にカフェを設置・飲み物・やきそば・豚汁・フルーツを地域の青少年指導員やボランティアに作成してもらい販売した。同時におもちゃ病院も開催した。	1	293
12	ほっとフレンズ2023秋	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者	3	11月にポッチャ大会を岩崎地域ケアプラザで開催予定だったが中止とした。	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	ほっとフレンズ2023春和太鼓と玉ねぎ染め体験及びボランティア研修	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者	3	ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に和太鼓体験、玉ねぎ染め体験を3月24日に開催した。ボランティア研修3月9日に開催した。	2	18
14	ほっとフレンズ2023夏ヨコハマエアキャビンに乗ろう！カップヌードルミュージアムに行こう！及びボランティア研修	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者	3	横浜探検という内容で親子参加してもらい、区内コーディネーター、関係機関とボランティアが参加者と一緒にご一緒にヨコハマエアキャビンへ搭乗し、カップヌードルミュージアムでマイカップヌードルの作成体験を行う外出企画を7月30日に開催した。事前にボランティア研修を川島地域ケアプラザで6月19日に開催した。	2	16
15	ほどがや区民まつりの参加	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。 そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域		ケアプラザの周知ブースを開催・年1回	1	450
16	無料食品配布会	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域支援として、食品ロスを兼ねて地域住民向けに食支援を行う。	5:地域		NPO法人の協力や地域の方の寄付により食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々へ無料で大人・子どもも含めて約100袋配布する。広報紙や自主事業のチラシも配布してケアプラザ事業を周知する。偶数月第2金曜日に6回開催した。	5	560
17	ときわ図書	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの情報ラウンジに図書コーナーを設けることで、読書を気軽に楽しんでいただく事ができ、事業に参加していない方でもケアプラザを知ってもらえるきっかけとなる。	5:地域		常盤台地域ケアプラザの情報ラウンジにリサイクル本の貸し出しコーナーを設置して、地域の方々を読書を楽しんでいただいた。	348	71
18	貸室お掃除大作戦	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体登録をされている利用者とケアプラザ職員と一緒に貸室の掃除をしてもらう事で交流を図る。	5:地域		団体登録をして、部屋利用している団体にご協力いただき、利用後に貸室の大掃除をしていただく。12月中の各団体活動日に実施した。	14	171
19	歌声サロン	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中高年を対象に開催。地域住民同士の交流を図りながら、歌う事で心身の健康維持にもつなげていく。	5:地域		昔なつかしい思い出の歌をピアノ伴奏でみんなて歌う。毎月第1火曜日に9回開催した。	9	227
20	ときわの森セタコンサート	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣の大学の吹奏楽部がケアプラザで演奏会を開くことで地域と音楽を通じて交流を図る。	5:地域		横浜国立大学吹奏楽団による器楽演奏コンサート。7月1日開催した。	1	61
21	認知症サポーター養成講座	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解して認知症の人や家族を温かく見守ることが出来る力を身につけてもらう。家族や周りの人が認知症になっても安心して暮らせる地域を作っていくことを目標とする。	5:地域		企画運営をキャラバンメイトさんに参加してもらい、認知症サポーター養成講座を行った。7/6/7/13/7/14に常盤台小学校3年生、2/26に保土ヶ谷中学校3年生に実施など。	8	539
22	チームオレンジ	令和4年度	7:共催（1と2と3）	2:発展させるねらい	認知症になっても住み慣れて安心して過ごせる地域づくりを自分たちで考える事が出来るようになることを目標とする。 令和5年度はチームオレンジとして認知症施策推進計画に沿って「峰沢団地周辺」の地域の継続支援、スターバックスでのカフェ開催を目指す。	5:地域		スターバックスにて6/15認知症講座受講後、ステップアップ研修を開催。7月からカフェ開催。峰沢団地では9月脳トレロボコ予防講座実施。中央東部地区でサポーター養成講座、ステップアップ研修開催。Nカフェ毎月開催、イオンで啓発イベント開催。	17	330
23	サロン ドゥ きらめき	令和4年度	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	認知症になっても住み慣れて安心して過ごせる地域づくりを自分たちで考える事が出来るようになることを目標とする。 令和5年度はチームオレンジとして認知症施策推進計画に沿って「峰沢団地周辺」の地域の継続支援、スターバックスでのカフェ開催を目指す。	1:高齢者		包括職員が手芸や、脳トレ、体操、消費者被害予防など、参加者と相談しながら、サロンでやることを決めて実施。また、年に数回イベント的な内容も盛りこむ。第2、第4火曜日開催。	22	59
24	きらきら長寿ときめき塾	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康寿命延伸のため、生活習慣の改善や介護予防に対する知識を得て、日々の生活の中で実践できることを目的とする。また、自分の健康に関心を持つことで、地域での健康づくりに取り組むきっかけとする。	1:高齢者		介護予防に必要な運動(脳トレ)・口腔機能向上・低栄養予防に関する講座を行う。6/22、7/3、7/13開催。	3	34
25	ゆるのび運動	令和3年度	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	ロコモ予防、認知症予防の普及・啓発をする。また、ADLの低下があっても通える場所づくりを目的とする。	1:高齢者		「ロコモ予防の運動」「脳トレ」生活に取り入れやすい運動等を学び、自己実施できるように支援する。また、自立に向けた支援を行う。毎月第2、第4木曜日開催(8月は休み)。	8	20
26	きらきら長寿ときめき塾inたまり場	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康寿命延伸のため、生活習慣の改善や介護予防に関する知識を得て、日々の生活の中で実践できることを目的とする。ケアプラザに来ることが難しい地域をターゲットにした普及・啓発を行う。	1:高齢者		介護予防に必要な運動(脳トレ)・口腔機能向上・低栄養予防に関する講座を行う。6/26、7/24開催。	2	53

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
27	ノルディックウォーキングin新横浜公園	平成23年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者がいつまでも元気に楽しく過ごしていけるよう、ノルディックウォーキングを通して継続的に運動に取り組むための支援を行う。隣接の神奈川県区のグループと交流を図る。	1:高齢者		講師の指導のもと、新横浜公園周辺をウォーキングした。また、神奈川県若竹苑のグループとの交流の場となった。6/6実施。	1	15
28	シャキトレ!	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ロコモ予防の運動を学び、自宅でも健康づくりに取り組むことができる。	1:高齢者		生活に取り入れられるロコモ予防の運動を講師から学ぶ。グループの自主化を目指して支援を行った。毎月第3火曜開催。(8月は休み)生活に取り入れられるロコモ予防の運動を講師から学ぶ。グループの自主化を目指して支援を行った。毎月第3火曜開催。(8月は休み)	11	100
29	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	5回シリーズで地域住民に生活習慣病について学んでもらい、予防に取り組むきっかけとする。また、いざという時に相談できる場所が身近にあることを知っていただく。	5:地域		地域の診療所の医師より、生活習慣病の予防と改善方法を中心に講義していただいた。4月、6月、9月、11月、2月実施。	4	90
30	きらきら長寿ときめき塾つながりサロン	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康寿命延伸のため、生活習慣の改善や介護予防に関する知識を得て、日々の生活の中で実践できることを目的とする。ケアプラザへの来訪が困難な地域をターゲットにした普及・啓発を行う。	1:高齢者		介護予防に必要な運動(脳トレ)・口腔機能向上・低栄養予防に関する講座を行う。6月、10月、2月実施。	3	43
31	出張講座inゆうゆうサロン	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザに来ることが難しい地域住民に対して、フレイル予防に関する講座を行う。また、相談があれば、相談も受ける。	1:高齢者		運動、脳トレ、体力測定を行った。また、必要に応じて総合相談に応じた。6月、12月、3月実施。	3	51
32	男性かがやき塾～コーヒー編～	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の社会参加、居場所づくりをねらいとする。地域向けやイベント等担い手として活躍の場を広げていくような投げかけを行い、発掘支援していく。	1:高齢者		シニア男性、またはご夫婦を対象に月1回開催。コーヒーの淹れ方や選び方、その他実践方法等を学び技術を身につける。参加が主体的に活動を行えるように支援し、自主化を目指す。毎月第2水曜。(8月は休み)	8	47
33	楽しくコグニサイズ	令和2年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のサロンや活動グループ支援、介護予防として楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。また、地域活動の担い手候補の発掘も目的とする。	1:高齢者		かながわ健康財団のコグニサイズ講師派遣事業を活用し、地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行った。10/26、11/9、12/1実施。	3	42
34	ワークショップ	平成23年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	老後も安心して住み続けられるまちづくりに向けた地域住民主体のワークショップ。	5:地域		横浜国立大学建築計画研究室の学生によるテーマの投げかけにより、地域住民と学生が話し合い、具体的な内容の検討をし理解を深めた。今年度は「多世代が楽しめる場所づくり」をテーマに、羽沢・常盤台地区にあったら良いと思う遊べるイスづくりを行った。年6回、5月7月8月9月11月2月に実施した。	6	248
35	喫茶ときわだい	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性かがやき塾～コーヒー編～のメンバーが、地域向けにコーヒーを淹れる場を設けることで、担い手の育成を行う。達成感や楽しさ、やりがいを感じることで、今後の自主的な活動への意欲を高めることを目的とする。	5:地域		男性かがやき塾～コーヒー編～のメンバーが、学んだ技術を活かし、地域の方にハンドドリップコーヒーを提供する。6月12月2月に実施した。	3	60
36	地域活動グループリーダー連絡会	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	きらり☆シニア塾や地域のサロン等で活躍されている、ボランティアリーダーに対するフォローアップ。	1:高齢者		運動系のグループには理学療法士より講義や実践を、サロンなどのリーダーには言語聴覚士よりコミュニケーションに関する内容を講義していただき、グループの活性化を図る。9月10月3月に実施。希望のあった3か所のグループにも直接フォローアップも行った。(1月2月に実施)	6	92
37	スマートフォン講座	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	スマートフォンをうまく使いこなせるようになることで、住民同士のつながり・交流の機会を増進させる。スマートフォンを用いて自主的な介護予防の知識を習得するための機会とする。	5:地域		スマートフォンの基本的な操作方法、LINEの基本操作等を学ぶ。7～9月に全3回で実施した。	3	41
38	「よこはましニアボランティアポイント」登録研修会	平成29年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアに気軽に参加できるきっかけづくり、及び新たな担い手の発掘育成を目的として開催する。またボランティア活動を通じて高齢者社会参加、生き甲斐づくりも目的とする。	1:高齢者		ケアプラザ職員が講師として、よこはましニアボランティアポイントの登録研修会を開催する。ボランティアポイント事業の概要、ボランティアの基礎知識及び留意点等を説明する。年内に実施予定であったが、開催せず。	0	0
39	アーティフィシャルフラワーアレンジメント	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会とする。また、共催することで多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感をを使うことで認知症予防も目的とする。	5:地域		講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導いただく。12月8日にしめ縄飾り作りを開催した。	1	14
40	トイレを気にせず外出しよう!	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に尿漏れ予防体操を伝えることで、閉じこもり予防の一助とする。	5:地域		運動講師より体操、看護師より尿漏れの機序について講義。12月実施。	1	27
41	立位年齢測定会	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	横浜国立大学「こらぼ」と連携し、立位年齢を測定。地域住民が自分の転倒リスクを知り、転倒予防運動に取り組むきっかけづくりとする。	1:高齢者		こらぼのスタッフが立位年齢を測定する。1回目はその人にあった運動を紹介して、毎日取り組むよう提案する。2回目に再測定し、変化を評価した。10月11月実施。	2	26



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
42	スクエアステップリーダー連絡会	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	スクエアステップリーダーのフォローアップ。	1:高齢者		スクエアステップリーダーのフォローアップとして、講師よりスクエアステップの進め方について指導いただいた。11月実施。	1	11
43	アートで脳トレ♪	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	アートセラピーで右脳を刺激し、認知症予防の一助とする。	1:高齢者		臨床美術の講師よりアートセラピーの実技指導、認知症予防について講義いただいた。1/31実施。	1	15
44	音楽de脳トレ♪	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	音楽療法を通して、認知症予防に取り組みきっかけづくりとする。	1:高齢者		音楽療法の講師より楽器を用いて音楽の実技指導、認知症予防について講義いただいた。2/22実施。	1	10
45	春のフラワーアレンジメント	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	普段ケアプラザを利用していない地域住民にもケアプラザを知ってもらう機会とし、共催することで多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感や手先を使うことで認知症予防も行う。	1:高齢者		講師より、生花を使用したフラワーアレンジメントを指導受けながら実施。また、包括職員より認知症予防について説明し、わがまち保土ヶ谷体操を行った。3/6実施。	1	16
46	フラワーランプ講座	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フラワーランプを作成し、手先を使うことで認知症予防の一助とする。また、作品の完成を想像することで右脳の活性化を行う。	1:高齢者		講師指導の下、フラワーランプ作成した。フレイル予防と認知症予防についても講義を行った。3/27実施。	1	7